

令和3年(2021年)5月31日
北海道芸術デザイン専門学校

令和2年度 自己点検・自己評価について(まとめ)

平成19年の学校教育法及び学校教育法施行規則の改正の主旨に則り、令和2年度の教育活動について、自己点検・自己評価の結果を公表いたします。

○評価基準(4 十分達している、3 概ね達成している 2 改善の余地あり 1 検討が必要)

【令和元年度評価の平均値→令和2年度評価の平均値】

○職員の入退職により評価者が変わり、またその人数が増えています。また、コロナ禍により中止・延期・変更になった活動も多く、前年度に比べ全体的に評価は低く(厳しく)なっていますが、総じて高い評価となっています。

1 教育理念・目的・人材育成像

(1) 理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか

【3.94→3.63】

本校は、昭和41年(1966年)に北海道美術学校として設立以来、デザイン教育において、業界の黎明期から実践的かつ職業人として自立する人材の育成に取り組んでまいりました。これからも、学園の創立の精神である「熱意」「決意」「創意」を教職員で共有し、デザインの基礎から実践までを学び、クリエイターとして活躍できる人材の育成に努めてまいります。

(2) 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか

【3.75→3.58】

専門的スキル・知識と社会人基礎力の習得を、企業の求める人材育成の柱と考え、教育活動を展開しています。平成26年度に文部科学大臣より「職業実践専門課程」として認定を受け、企業連携プロジェクト指導に重点を置き、各業界で活躍する専門家を講師に招いて、より実践的な人材育成に努めています。

2 学校運営

(3) 目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか

【3.76→3.83】

各学科・専攻とも、学校目標や運営方針等を踏まえ、社会のニーズや学生の実態等に応じて、教育課程を編成し、実施しています。また、講師会議や教育課程編成委員会等において課題を共有し、カリキュラム・マネジメントの充実を図っております。

- (4) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。

【3. 75→3. 58】

情報公開は、ホームページを中心に、ツイッターなどのSNSも活用し、情報が陳腐化しないようスピード感をもって行うよう取り組んでいます。また、学校案内を毎年作成し、道内のすべての高校に配布するとともに、各種相談会や体験入学でも希望者に対して配付しています。その中では、よりカリキュラムの特色や就職状況等も公開・説明しています。

3 教育活動

- (5) 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等示されているか

【3. 94→3. 67】

各専攻の専門性を重視し、教育課程編成委員会の助言等を受けながら教育課程表や年間行事予定等を作成しています。また、デザインコンペティションへの参加や校外学習、国際交流、学生グループ制作展等を構成項目として組み合わせ、専門的な知識と実技のバランスに考慮して編成しております。

- (6) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

【3. 88→3. 42】

学則をもとに教務規程を定め、成績評価や単位認定の基準を明確に設定し、進級並びに卒業認定はこれらの基準に沿って行っています。また、これらの基準等については、入学後のオリエンテーションにおいて学生に説明しております。

近年、メンタル等に不安を持つ学生が増えていることから、弾力的な運用を図るとともに、学則や諸規程については、時代に即したものとなるよう改正や変更を行っています。

- (7) 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか

【3. 88→3. 54】

ビジネス能力検定については、社会人としての基礎力向上を図るため、学科や専攻を問わず指導体制を明確にしています。学校としても受験料の補助などを行って受験を促しています。また、各専攻の専門分野に対応した各種検定試験についても、在学中受験が可能となるようカリキュラムを配慮しています。

- (8) 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保している

【3. 75→3. 50】

教職員採用要件には、専門学校としての役割や本校の目標を採用希望者からしっかりと確認するなどし、各業界において積み重ねてきたキャリアを活かすことができるよう配慮しています。また、外部研修会等への参加を促し、教員の資質向上に努め、人材育成に必要なノウハウを組織的に構築できるよう努めています。

4 学修成果

- (9) 就職率の向上が図られているか

【3. 75→3. 46】

就職課の専任教員が、入学後からガイダンスや面談を積極的に行う等、計画的・積極的に就職指導を推進しています。また、校内での企業説明会を積極的に受け入れて、企業担当者から直接学生に対して、求める人材や社会人として心構えなどを話していただく機会を設定し、学生の就職への意識高揚を図っています。

(10) 退学率の低減が図られているか

【3. 19→3. 38】

学生理解を深めるために、外部講師による校内研修会や関係団体が実施するメンタルヘルスに関する研修会にも参加し、メンタル面で心配のある学生への適切な指導・対応に努めています。また、担任が適宜適切に学生と面談を実施し、家庭との連携を進めながら、中途退学を防ぐ取組を進めています。

5 学生支援

(11) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

【3. 86→3. 67】

1年生の早期より就職ガイダンスや就職希望調査を行うとともに、就職活動セミナーや企業説明会への積極的な参加を促しています。また、就職課と担任との連携を密にし、求人企業と学生のマッチング等、学生一人一人の希望と特性を踏まえた相談や指導を丁寧に行っています。

(12) 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

【3. 81→3. 50】

本校独自の各種奨学金や学費等支援制度(給付型)を充実させ、入学する学生への支援を行っています。また、奨学金や給付金などについて、校内説明会を実施し、国や地方自治体の支援制度の活用を促すとともに、返済等将来を見据えた利用についても指導しています。

6 教育環境

(13) 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

【3. 88→3. 21】

コロナ禍おけるリモート授業等に対応するために国の補助金等を活用しながら、学生一人一台端末に向けて整備を進め、ICT 環境については内容の充実を図ることができています。一方、コロナ禍のため海外研修や国際交流事業は中止となりました。また、インターンシップについても、例年どおりには実施できませんでした。

(14) 防災に対する体制は整備されているか

【3. 63→3. 42】

各室に管理責任者を置き、火気管理をはじめとして防火・防災等の分担責任を定めています。また、消防設備点検は業者により6ヶ月毎に実施するなど法にもとづ

いた各種点検を行っています。なお、校舎は耐震基準を満たしております。

7 学生の受入募集

(15) 学生募集活動は、適正に行われているか

【3. 94→3. 63】

広報課を中心に、高校訪問を積極的に行い、募集広報メディア等への原稿や学校説明等については、高校生が理解しやすいよう分かり易さに重点を置き内容の精選を図っています。また、体験入学等では奨学制度や入学制度等の具体的な情報提供をしています。ホームページには正確な情報公開を心掛け、細心の注意を払っております。

(16) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

【3. 94→3. 63】

実践力を備えた人材の輩出が本校の第一の目標であり、その観点から就職率やコンペティション入賞等の成果を的確にホームページ等で公開し、学校案内でも紹介しています。

8 財務

(17) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

【3. 73→3. 50】

透明性の確保のため、財務諸表をホームページに公開しています。日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考指標としており、長年の無借金経営を継続し中長期的にも健全な財務基盤であり、経営状況は安定しています。

(18) 財務について会計監査が適正に行われているか

【3. 87→3. 58】

会計監査は監査法人により年3回(12、4、6月)実施し、その後本学園の会計監査を実施しています。財務について、適正な判断がなされておりホームページ上に公開しています。

9 法令の遵守

(19) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

【3. 81→3. 33】

「美専学園個人情報保護基本方針」を定めて、個人情報の保護に万全を期しています。個人情報保護法に基づき、出願者、入学者、学生はもとより、講師を含めた教職員の個人情報等に関しても、情報管理の一元化や管理体制の厳格化に努めております。